

平成 27 年度 感染症事例のリスクアセスメント研修会
—エボラ出血熱、MERS からマス・ギャザリング、麻疹まで—

本研修会は公衆衛生従事者が良好な感染症危機管理を実践する一助として、国際保健規則 (IHR) の考え方も踏まえ、実地の感染症事例に対する疫学的視点に基づく分析、リスクアセスメントの方法について学ぶことを目的とし、学会総会時に開催するものです。

本年度の研修会では、昨年大きな話題となったエボラ出血熱、MERS などの新興感染症からマスギャザリング対応、比較的身近な感染症 (例：麻疹) まで、事例を使った具体的な演習を行うことにより、日常業務における感染症危機事例の迅速な検出及び評価、最終的に有効な対応につなげることができるようになることを目標とします。奮ってご参加ください。

なお、本セミナーは修了書を発行し、公衆衛生学会認定専門家制度のクレジット(20点)を提供します。

日 時：11 月 6 日 (金) 13 時～17 時

会 場：長崎ブリックホール 2 階 練習室 1

内 容：感染症事例のリスクアセスメント研修 ※ワークショップ形式で開催

- 趣旨説明 (前田秀雄／公衆衛生学会感染症対策専門委員長／東京都福祉保健局)
- 基調講演「感染症危機管理のためのリスクマネジメントの考え方」
(押谷仁／東北大学大学院医学系研究科微生物学分野)
- ワorkshopのためのオリエンテーション
(中島一敏／東北大学大学院内科病態学講座 感染制御・検査診断学分野)
- ワorkshop「リスクアセスメントを学ぶ」(グループ討議・発表)
(以下予定：砂川富正、谷口清州、中島一敏、八幡裕一郎、杉下由行、加來浩器、神垣太郎、鈴木智、中瀬克己、吉田真紀子)

対 象 者：公衆衛生学会参加者 (医師・保健師・食品衛生監視員等の公衆衛生従事者、大学等の研究者等)

定 員：70 名程度

参 加 費：2,000 円 (資料代含む)

申込方法：「感染症疫学分析のための研修会」に参加をご希望される方は、裏面の申込用紙に必要事項を記載の上、9 月 10 日までに下記問合せ先宛てに FAX または E メールにて送付してください。様式は本学会ホームページに掲載している Word ファイルをご利用下さい。

主 催：日本公衆衛生学会 感染症対策専門委員会

共 催：日本公衆衛生学会 専門職・教育生涯学習委員会

[詳細・最新情報はホームページでご確認ください。]

問合せ先：日本公衆衛生学会 事務局

TEL 03-3352-4338 FAX 03-3352-4605 E-mail phgakkai@jpha.or.jp

FAX 03-3352-4605

日本公衆衛生学会感染症対策専門委員会主催

感染症事例のリスクアセスメント研修会

参加申込書

【申請者】

ふりがな ()

氏名 _____ 会員No. _____

所属機関 _____ 部署 _____

職種 _____ (医師・歯科医師・保健師等) 役職 _____ (課長・講師・助教等)

連絡先住所 〒 _____

(勤務先・自宅) どちらかに○をつけてください。

Tel. _____ Fax. _____

E-mail _____ @ _____

参加費用 2,000 円 (資料代を含む)

(交通費、宿泊費等は別途自己負担です。)

受講が決定しましたら、振替用紙を送付しますので、参加費用をお振込下さい。

入金を確認次第、受講通知をお送りいたします。

いただいた参加費用はお返しできませんので、ご承知下さい。

この度は当研修会にお申し込みいただきまして有り難うございました。